

授業にちょっとデジタル教科書

こんな実践
あんな実践

地理

① 世界の諸地域でのワンポイント活用例 ～関心を高めて理解させる資料提示～

国立大学附属中等教育学校 教諭

◆**単元名**：第3章 世界の諸地域 3 統合を強めるヨーロッパの国々

「①ヨーロッパをながめて」(教科書 pp.68-69)

◆**本時の目標**：

ヨーロッパ州を大観し、自然環境や主な地形の位置とフィヨルドについて理解を深める。

《本時の展開例》

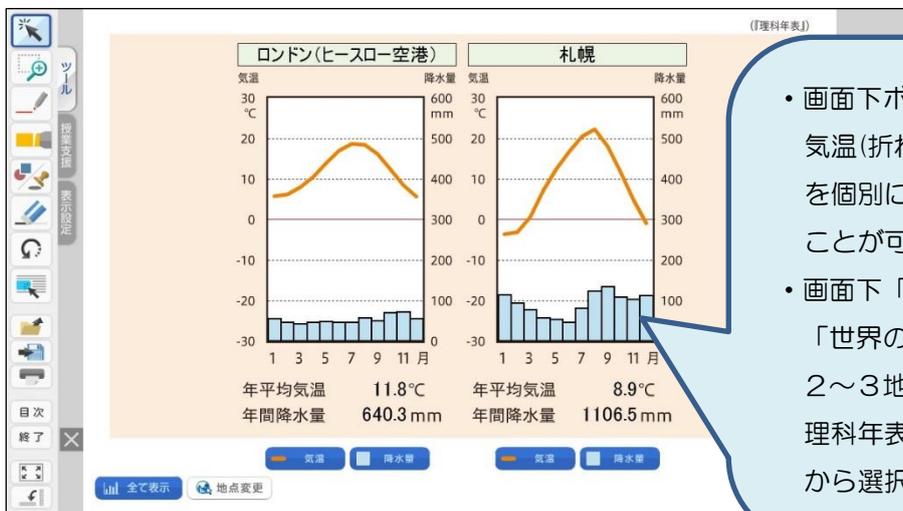
	学習活動	留意点	デジタル教科書・教材
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ●「フィヨルド」を示した衛星写真を黒板に提示し、学習への興味や関心を高める。 【問】この写真のギザギザな海岸線は何でしょう。地図でこの場所を確認してみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の既習事項であるリアス海岸とどこが違うのか、授業のまとめで触れるために疑問を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書に収録の写真(p.69・5)：海岸線をペン機能でなぞり、U字谷の状態を印象づける。
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> ●ヨーロッパの地形名を確認する。 ●ロンドンと札幌の雨温図を作成する。 ●高緯度のヨーロッパが、比較的温暖となる理由を確認する。 ●VTRを視聴：『世界ふしぎ発見!』(2013年11月2日放送)を編集したものを見せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スカンディナ비아半島の海岸線を赤でなぞるよう指示する。 ・気温(折れ線グラフ)のみ作成し、時間の節約を図る。 ・教科書の本文より暖流の北大西洋海流と上空を吹く偏西風の影響で気候が温暖になることをおさえる。 ・ロフォーテン諸島の海とフィヨルドの映像から入り組んだ海岸線の特徴をつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書に収録の画像(p.68・1)：北緯40度をペン機能でなぞり、ヨーロッパが高緯度に位置していることを印象づける。 ・デジタル教科書に収録の雨温図の機能：ロンドン(ヒースロー空港)と札幌の雨温図を表示する。 答え合わせとして気温の変化を見せる。 ・映像の視聴(5分程度)
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ●フィヨルドとリアス海岸の違いを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 p.267 の「用語解説」を見せ、要点をまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書に収録の画像(p.231・3)：リアス海岸の写真を見せる。

◆指導にあたって：

○本時は、ヨーロッパ学習の導入に相当する。地図帳を用いた単なる地名の確認だけでは、生徒は無味乾燥な印象をもってしまい、ややもすると地名を暗記する科目として地理に対して悪い印象を抱きがちである。生徒が意外に感じたり、固定観念を揺さぶられたりするような教材や映像などを積極的に利用して、各州に対する生徒の興味や関心を高めていくことを日ごろから心掛けている。本時では、デジタル教科書に収録されている、写真資料や雨温図などを見せながら、生徒全員が一つの教材に注目する場面を多く取り入れた。

◆デジタル教科書活用のねらい：

- 導入において、デジタル教科書の写真「ヨーロッパ北部のフィヨルド(p.69・5)」を提示し、生徒の興味や関心を高めるようにする。
- 展開において、「ヨーロッパの地勢と国々(p.68・1)」を見せ、地形名を確認する。雨温図の比較機能を活用して、ヨーロッパが高緯度のわりに温暖であることを印象づける。



- 画面下ボタンをそれぞれクリック：
気温(折れ線グラフ)・降水量(棒グラフ)を個別に、ひと月分ずつ順に表示することが可能。
- 画面下「地点変更」ボタンクリック：
「世界の雨温図 地点変更」画面→
2～3地域を選択→
理科年表掲載の日本・世界の325都市から選択、比較することが可能。

生徒の声

- いつもは先生が地図帳や教科書をさし示して説明をしていたが、デジタル教科書を使うことで、みんなが見て理解できるのが良いと思う。また、写真や絵に手を加えることもできて、わかりやすくなるので良いと思う。
- デジタル教科書上で、注目するところを具体的に線などで示してくれたからわかりやすかった。雨温図のときも(グラフが)ニョーっとでてきたから、変化に気づきやすかった。
- 写真や図がわかりやすかった。家に帰って教科書を開いて読むだけで、今日の授業の内容を思い出すことができていると思った。

◆授業を終えての感想・今後の課題：

「デジタル教科書は、教科書の図にいたずら書きが自由にできるよ」などと言いながら、導入の部分で、フィヨルドの写真に線を引くことで、U字谷(氷河地形)を印象づけることができた。また、生徒が作った雨温図の答え合わせも、すぐに表示できるのでスムーズだった。収録されている動画も使うことにより、デジタル教科書のよさがさらに引き出せるのではないかと感じた。